

小名浜港に待望の「カツオ」初水揚げ

復興に向け、カツオで活気再び

8月29日朝、小名浜港に震災後初となるカツオが水揚げされました。

福島県旋網(まきあみ)漁業協同組合所属の「第22寿和丸」が、27日に宮城県気仙沼市御崎の東沖約900キロ付近で、カツオ約18トンを漁獲したものの。

小名浜港漁港区は震災の影響で岸壁などに甚大な被害を受けましたが、復旧作業を経て6月16日に小名浜魚市場を再開。しかし、福島第一原子力発電所の事故による風評被害の懸念から、これまで県外の漁港に水揚げしていました。

本日は、待ちに待った小名浜港での初水揚げで、港に久しぶりの活気が戻りました。



▲小名浜魚市場に水揚げされたカツオ

小名浜港の漁業に関する最近の動向

6/1	今年初となるカツオ漁に出漁
6/6	カツオ初水揚げ(他港)
6/16	小名浜魚市場再開
6/21	小名浜港での初水揚げを予定するも中止
7/1	いわき海星高の海洋練習船「福島丸」が、小名浜港での震災後初となるマグロなど水揚げ
8/10	サンマ船の第一陣が出漁
8/22	サンマ初水揚げ(他港)
8/29	小名浜港にカツオ初水揚げ



▲復興の第一歩として、港に再び活気もどる

